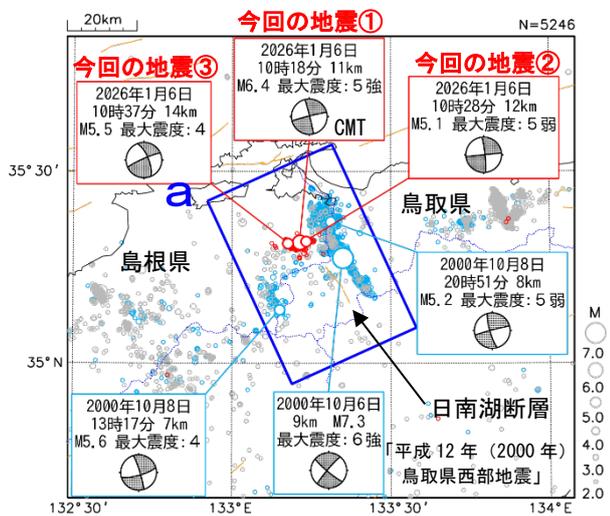


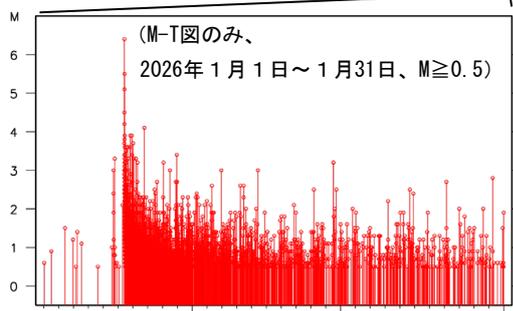
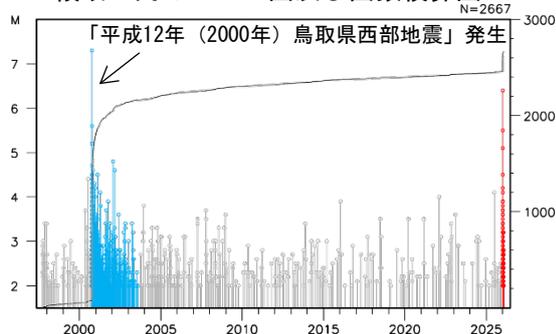
1月6日 島根県東部の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2026年1月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2000年10月～2003年9月の地震を**水色**、
 2026年1月の地震を**赤色**、
 上記以外の期間の地震を**灰色**で表示

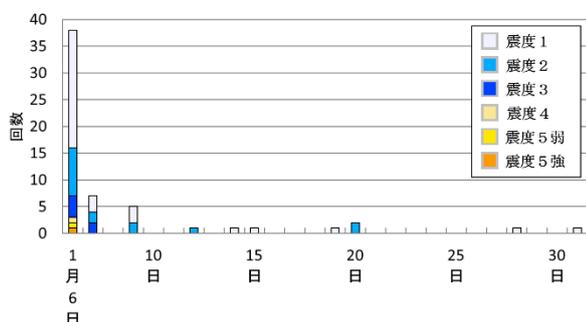


震央分布図中の**橙色**の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図



最大震度別地震回数 (日別)
 (2026年1月6日～1月31日、震度1以上)



2026年1月6日10時18分に島根県東部の深さ11kmでM6.4の地震(最大震度5強、図中①)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、5日16時43分にM3.0の地震(最大震度1)及び同日18時42分にM3.3の地震(最大震度2)が発生した。また、M6.4の地震発生後には、6日10時28分にM5.1の地震(最大震度5弱、図中②)及び同日10時37分にM5.5の地震(最大震度4、図中③)が発生するなど、M5.0を超える地震が発生した。6日から31日までに震度1以上を観測した地震が58回(震度5強:1回、震度5弱:1回、震度4:1回、震度3:6回、震度2:16回、震度1:33回)発生した。この地震により、負傷者15人、住家一部破損114棟の被害が生じた(被害は2026年1月14日17時00分現在、総務省消防庁による)。

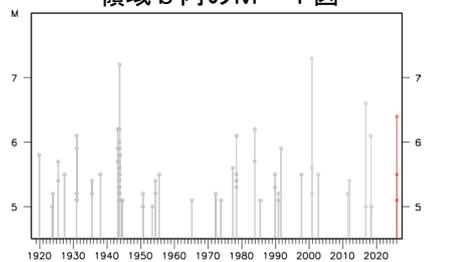
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1943年9月10日に発生したM7.2の地震(鳥取地震、最大震度6)では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
 (1919年1月1日～2026年1月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 5.0$)
 2026年1月の地震を**赤色**で表示

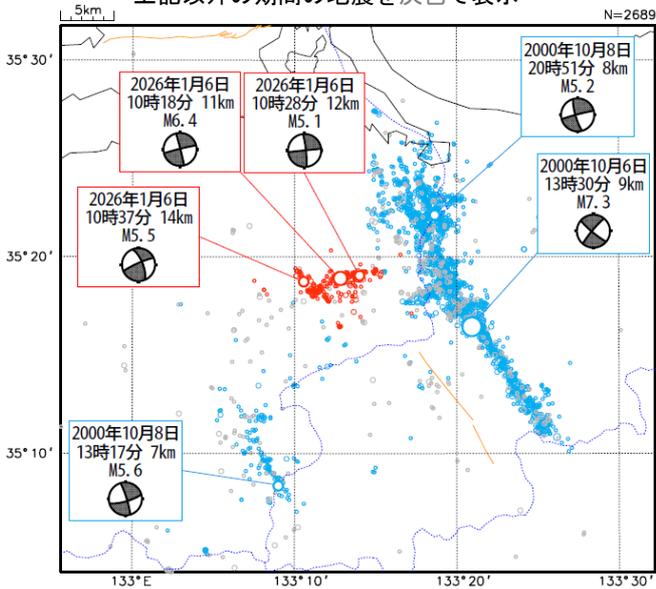


領域b内のM-T図

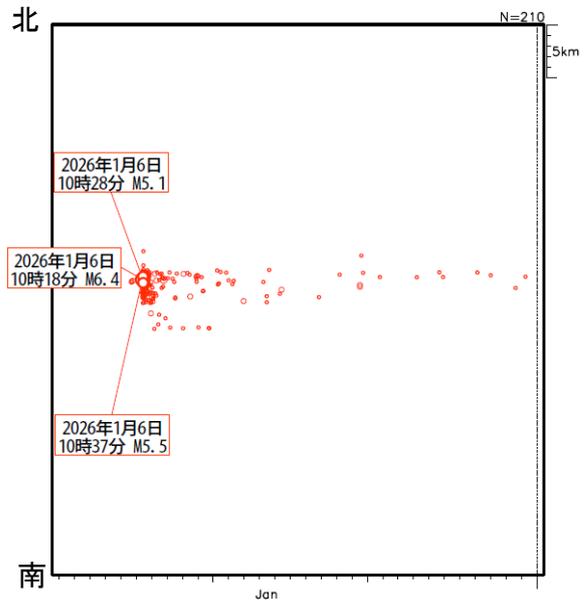


気象庁作成

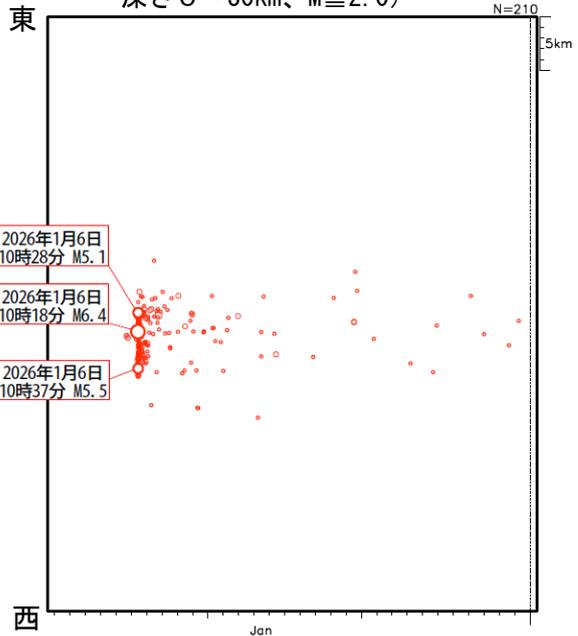
震央分布図（前ページの拡大図）
 (1997年10月1日～2026年1月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2000年10月～2003年9月の地震を水色、
 2026年1月の地震を赤色、
 上記以外の期間の地震を灰色で表示



震央分布図内の時空間分布図（南北投影）
 (2026年1月1日～1月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)



震央分布図内の時空間分布図（東西投影）
 (2026年1月1日～1月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)



震央分布図内のM-T回数積算図
 (2026年1月1日～1月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)

